

ダラエヌール郡の干ばつ状況

ジャラバード事務所責任者

アブドウルサーブルサダット

ダラエヌール郡はナンガラハル州二二郡のうちの一つで、州都ジャラバードから二六キロ離れたところに位置し、大きな村落が九つあります。郡の人口はおよそ十二万五千人で、九九%がパシャイー語を話します。

ダラエヌール郡の農民は、以前は泉から湧き出る天然水やカレーズ（地下用水路）の水を使って、自分たちの農地で小麦、トウキビ、米、野菜を栽培し、牛や羊などの家畜を育て、幸せで満たされた暮らしを営んでいました。

しかし、二〇〇〇年から現在も続いている大干ばつで泉やカレーズが干上がってしまい、人々はあらゆる問題にさらされるようになりました。住民たちは雨が降って農地が再び緑を取り戻すことを願ってききましたが、干ばつは今も続き、生活の糧を得ることがとても困難な状況になっています。

また干ばつは農業のみならず人々の健康

にも悪影響を及ぼしており、子供は様々な病気にかかり、妊婦は栄養不良に陥っています。干ばつで生活が苦しいために薬代や医療費が払えなくなっています。そのため多くの農民が家畜を安値で売って食べ物を買い、なんとか家族の命を繋いでいます。

山岳部の住民たちは森の木を伐採して売って生活費の足しにしていますが、これは周辺地域の天候にも影響を及ぼし、洪水の原因になったりして住民生活に害を及ぼしています。

干ばつが長引き、いつまでも困難な生活が続くことを怖れた住民たちは、PMSの

灌漑施設かんがいのおかげで水問題に悩まされていないシェイワ、ベスード、カマなど他の郡や地域に移住しています。また以前に難民として暮らしたバキスタンに再移住し、なんとか食いつないで家族の命を守ろうとする人達もいます。ただそれも現在のアフガンニスタンではパスポートやビザの取得が難しく、大きな問題となっています。

このように干ばつを乗り越えて生き延びる術まよを奪われたアフガンの人々は、悲惨な生活を強いられています。

私たちの国アフガンニスタンが再び繁栄を取り戻すことを祈ってやみません。